

教出 二年上

平成二十七年四月

新しい教科書の扱いについて

一 新しい教科書で進級の喜びを味わう。

第一日目 (始業式)

座席表を掲示し、各自で席に着けるよう配慮。
座席表をもとに児童名を覚える工夫。
顔を見ながら出欠をとれるように工夫。
教科書を配布し、家で記名するように指示。
作文の予告 (書きたいことを決めてくる)

第二日目 (学級開き)

学級指導・学級活動、他教科 (略)
国語 (作文 予告をもとに 記述)
(準備) 鉛筆一本と作文用紙

一 文話 (作文を書く雰囲気を作る)

- ・ 一番書きたいことを書いて。
- ・ みなさんのことを知りたい。
- ・ 春休み・二年生になって・教室……
- ・ 書き間違いは、消しゴムで消さない。

(例を板書する)

二 文題発表 (考えてきた題の発表)

- ・ 題が決まった人 五名程度
- ・ 発表を受けて板書
- ・ さわりを聞き、期待感を伝える。

三 記述 (各自が各自のペースで)

- ・ 教卓の前で見守る。
- ・ 目が合ったら微笑み返す。
- ・ 自分のもっている力で書かせる。

四 自己批評 (読み直しの習慣)

- ・ 読み直して、加除修正し、静かに待つ。

五 提出 (労をねぎらいながら受け取る)

- ・ 記名を確認し、一行目の上に日付を書き、書いた方を表に半分折って提出。

◎ しっかり書いてくれました。読むのを楽しみにしています。次の作文でどこが面白かったかをお話します。楽しみにしていてください。何回か読んで一週間以内に修正の授業をする。初回の作文は、子供達にとっては、新年度の抱負が書かれていることが多い。ファイルに綴じていつでも見られるようにしておく。よい。子供の気持ちや思いを大切にしたい指導の指針になるので。

第三日目

国語 (教科開き)

(教科書を使う準備)

- ① 表紙に折り目、裏表紙にも折り目
- ② 教科書を真ん中で開いて押さえる。
- ③ その前半分を開いて押さえる。
- ④ その後半半分を同様に押さえる。

(教科書を見る)

- ① 表紙の絵を見て話を作る。
 - ・ 魚が釣れているのに気付かないのは誰。
 - ・ もう一匹釣れたのは誰。
- ・ 狐の釣った魚を食べようとしているのは誰。
- ・ この教科書には、ワニの出ている話があります。探してください。

- ・ 「わにのおじいさんのたからもの」は、二学期に勉強します。楽しみにしていてね。
- ・ 狐の出ている話もあります。探してごらん。
- ・ 「きつねのおきやくさま」は六月に勉強します。面白い話です。家でも読んでみましょう。
- ・ どこにどんな話載っているか分かるページ

があります。どこでしょうか。

- ・ 目次です。そこを開けてご覧下さい。
- ・ 大きく八つのお勉強をします。付録もついてあります。お家でいろいろなところを読んでみましょう。

(今日の学習) 扉の詩

・ 教は目次に出していない最初の詩を勉強します。

(区画 ページごとの二区画)

- 一 よむ (二区画 二回 計四名)
- ・ ゆっくり大きな声で読む

二 とく

- ・ (題名) 教科書の表紙 (ひろがることば)
- ・ 絵を見て、「ことば」↓お話しているのは。
- ・ 楽しそうです。(羊の表情) どんな話かな。
- ・ 天気は、季節は、風は。
- ・ 風と話をしているのは。
- ・ そんな野原での言葉の話。

三 かく

- ・ 全文視写 (行替えだけは注意させる)
- (板書 分ち書き)

四 よむ

(指黙読・指音読)

五 よむ

(指黙読・指音読)

六 とく

- 語義・区分
- ひろがる わかば そよ風 つなぐ
- 区分 (区画1 わかば 2 ことば)

◎ 心

- ・ おしゃべりしているのは、誰、誰と。
- ・ おしゃべりすると、どんな気持ちになる。
- ・ 何と何を「つなぐ」の。何が。
- ・ 「ことば」は「おしゃべり」とつながるね。
- ・ 楽しいおしゃべりは、気持ちよくなるね。

七 よむ

(指音読二回 暗唱二回)

(案)